

共通語彙基盤
(IMI)

International Open Data Day 2014
公共施設-apps 開発支援キット Ver.0.1

平成26年2月20日

目 次

1. 本開発支援キットの目的	1
2. データ項目	2
3. データ作成とアプリ作成の流れ	22
4. 施設名一覧	25

図 表 目 次

図 1 共通語彙基盤 (IMI) のイメージ	1
図 2 施設共通 利用時データ項目	3
図 3 施設 (医療機関) 利用時データ項目	3
図 4 施設 (子育施設) 利用時データ項目	4
図 5 施設 (高齢者支援施設) 利用時データ項目	4
図 6 施設 (避難所) 利用時データ項目	6
図 7 施設 (宿泊施設) 利用時データ項目	6
図 8 施設 (飲食施設) 利用時データ項目	6
図 9 施設共通 内部データ項目	11
図 10 施設 (医療機関) 内部データ項目	12
図 11 施設 (子育施設) 内部データ項目	13
図 12 施設 (高齢者支援施設) 内部データ項目	14
図 13 施設 (避難所) 内部データ項目	15
図 14 施設 (宿泊施設) 内部データ項目	16
図 15 施設 (飲食施設) 内部データ項目	16
図 16 施設共通 英語対応表	19
図 17 施設 (医療機関) 英語対応表	19
図 18 施設 (子育施設) 英語対応表	19
図 19 施設 (高齢者支援施設) 英語対応表	20
図 20 施設 (避難所) 英語対応表	20
図 21 施設 (宿泊施設) 英語対応表	21
図 22 施設 (飲食施設) 英語対応表	21
図 23 AED での対照表例 (表示項目－管理項目－現状データ項目)	23

本資料は、共通語彙基盤検討のワーキングドラフトであり、今後の検討により変更することもある。ただし、情報項目は十分に検討されており、軽微な変更にとどまると考えられる。

また、本開発キットのデータ項目は、apps 等の情報交換用データ項目であり、公共施設を管理するための標準を定義するものではない。

また、語彙基盤は利用しながら改善を行うものであることから、意見や本開発キットを利用して apps を開発した場合にはご連絡いただければ幸いです。

経済産業省商務情報政策局 情報プロジェクト室 it-p@meti.go.jp

修正履歴
なし

1. 本開発支援キットの目的

本開発キットは、公共施設（学校、運動施設等）の情報を公開、交換、管理するための IEPD（Information Exchange Package Document）を Apps 開発用に解説したものである。

公共施設は、同じ施設が、市民サービス、観光、防災など、様々な用途で使われている。ため、様々なところで再利用、参照できることが望ましい。また、公共施設は、非常時に避難所になることも多いことから、日常的に使う施設類の情報と非常時に使う情報を合わせて管理ができることが重要である。

開発支援キットの目的

- ハッカソンで作る apps の情報整理作業の軽減
ハッカソン開始時から、アプリの企画と開発に専念できる
- ハッカソンで作った apps の住民視点での広域連携性の確保
アプリが、ハッカソンの当該エリアだけでなく、周辺地域でも使えると住民には便利
- ハッカソンで作った apps の広域流通性確保
アプリが他の地域で使えるのであれば、社会的意義が大きく、ビジネスになる可能性もある。
- ハッカソンで作った apps の分野横断連携
住所などの基本情報の形式を分野横断で共有できるので、様々な分野で作った apps をマッシュアップや連携しやすくなる。

共通語彙基盤は、基本的な語彙とその意味を定義し、組織や部門、分野を超えて各種の社会活動を円滑に行うための基盤であり、「世界最先端 IT 国家宣言」（平成 25 年 6 月閣議決定）の一環として推進されている。

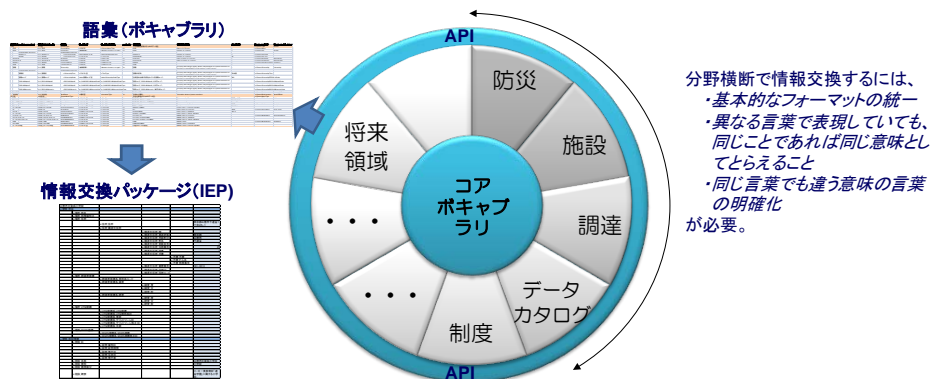


図 1 共通語彙基盤 (IMI) のイメージ

IMI(Infrastructure for Multi - layer Interoperability) <http://goikiban.ipa.go.jp/node/20130925/>

2. データ項目

データ項目は、アプリなどで表示する利用イメージと、情報管理用のデータ項目からなる。

利用イメージは、以下の通りである。

ただし、P5以降にシステム内でのデータ登録内容、APIに使うデータ項目を示すが、appsの目的等に応じ、その中から、情報を追加するなど、カスタマイズして利用する。もちろん、apps専用に独自のデータ項目追加は、必要に応じて実施可能である。

データ項目名	説明	備考
場所（住所）	都道府県名から番地まで区切りなく記入する。丁目以下は半角数字で記載し、ハイフンで接続。 東京都千代田区霞が関 1-3-1 等	FullAddress形式。 構造化データでデータを管理している場合はデータを連結して表示。
公共施設情報		
名称	施設名称を記入する。	
名称略	施設名に略称がある場合に記入する。	
種別	「博物館」等、施設種別を記入する。 参考資料参照。	
概要	施設の概要を100文字以内で記入する。	
説明	施設の説明を記入する。	
利用時間	利用可能日とそれぞれの利用可能時間を記入する。 月:10:00-18:00,火:10:00-20:00,・・・等 24時間の場合は、「24時間」と記載	管理用データを連結して表示。 直接、左記の形式で記入することも可能
料金	施設利用料金を記入する。	管理用データを連結して表示。
入口	入口の位置を記入する。	
駐車場	駐車場の情報を記入する。	管理用データを連結して表示。
保有設備	保有する設備がある時には記入する。	
アクセス	施設までのアクセスを記入する。	管理用データを連結して表示。
上位施設	本施設を包含する施設がある場合に記入する。	
サブ施設	本施設内に、サブ施設がある場合に記入する。	
リファレンス	施設に関する参照情報がある時には記入する。	〇〇市、〇〇商店等を記載。 管理委託がされていて、連絡先が違う場合は〇〇市（〇〇財団）と（）内に記入。
建物情報		
敷地面積	施設の敷地面積を記入する。	
地上階数	建物の最高階数を記入する。	

連絡先		
名称	連絡先の組織の名称を記入する。	
電話番号	連絡先電話番号を記入する。半角数字で - で接続。 **_****_****	内線がある場合は、**_****_ ****(****)と()内に記入。
メールアドレス	問い合わせ先メールアドレスを記入する。	
URL	施設に関する url を記入する。	

図 2 施設共通 利用時データ項目

医療施設型		
種類	施設種類を記入する。	病院、診療所、歯科診療所、助産所
診療科	診療科を記入する。	内科、外科、精神科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、産科、婦人科、眼科耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、臨床検査科、救急科、歯科 (東京都医療機関検索サービスの分類)
夜間診療	夜間診療の有無を記入する。	
休日診療	休日診療の有無を記入する。	
災害対応	災害対応の指定状況を記入する。	災害拠点病院、救急救命センター、被ばく医療機関、DMAT 指定医療機関 (上記は EMIS 分類) 後方医療施設 医療拠点

図 3 施設（医療機関） 利用時データ項目

子育て施設型		
種類	施設名称を記入する。	幼稚園、保育園、認定こども園等
利用可能日齢	利用可能な最小日齢を記入する。	
年齢定員	年齢別の定員を記入する。例:1才:5名	
職員数	職員数を記入する。	

保育スペース	0 歳児室、調理室、屋外遊技場等の保有設備を記入する。	
待機数	年齢別の待機数を記入する。	
待機可否	待機の可否を記入する。	
平均待機期間	平均的な待機時間を記入する。	
入園料	入園時に必要な費用を記入する。	
料金	月額等の料金を記入する。	
給食	給食の条件等を記入する。	
延長保育	延長の条件を記入する。	
夜間保育	夜間保育の条件を記入する。	
一時預かり	一時預かりの条件を記入する。	
送迎	送迎の有無を記入する。	

図 4 施設（子育て施設） 利用時データ項目

高齢者支援施設型		
種類	施設種類を記入する。	
総定員	総定員を記入する	
利用可能年齢	利用可能な開始年齢を記入する。	
受入介護レベル	受け入れ可能な介護レベルを記入する。	
職員数	職員数を記入する。	
待機者数	現在の待機者数を記入する。	
平均待機期間	平均の待機期間を記入する	
入所料	入所時に必要な費用をきにゅうする。	
料金	月額等の料金を記入する。	
給食	給食の条件等を記入する。	
入浴	入浴サービス提供の有無を記入する。	
機能訓練	機能訓練提供の有無を記入する。	
送迎	送迎の有無を記入する。	
家族の宿泊	家族の宿泊の可否を記入する。	
最大滞在期間	ショートステイなどでの最大滞在期間を記入する。	
医療	医療サービスの有無を記入する。	

図 5 施設（高齢者支援施設） 利用時データ項目

避難所型		
避難所 ID	避難所 ID を記入する。	
施設種別	避難所の種別を記入する。	一時集合場所 避難所

		福祉避難所 避難場所 帰宅困難者支援施設 避難所補完施設 医療救護所 給水施設
期間	開設期間を記入する。	
開設状況	開設状況を記入する。	準備中、開設済み等
収容人数	避難所としての収容可能人数を記入する。	
実収容人数	実際の収容人数の概数を記入する。	
救護設備	救護設備の有無を記入する。	
備蓄倉庫	備蓄倉庫の有無を記入する。	
給水設備	給水設備の有無を記入する。	飲料水、生活用水等
炊事設備	炊事施設の有無を記入する。	
発電設備	発電施設の有無を記入する。	
風呂	風呂の有無を記入する。	
トイレ	トイレの有無を記入する。	
電源状況	電源の状況を記入する。	「安定」、「不安定」、「なし」、「不明」
通信状況	通信の状況を記入する。	「」、「インターネットと電話有り」、「インターネット有り」、「電話有り」、「無し」、「不明」
食料状況	食料の状況を記入する。	「複数回／日」、「1回／日」、「1回／週」、「なし」、「不明」
飲料水状況	飲料水の状況を記入する。	「複数回／日」、「1回／日」、「1回／週」、「なし」、「不明」
衣類状況	衣類や寝具の状況を記入する。	「衣類も寝具もある」、「寝具はある」、「衣類がある」、「寝具も衣類もない」、「不明」
施設状況	休息の取れる施設か銅貨を記入する。	「個人の空間が確保されている」、「寝られる」、「雨風がしのげる」、「風雨がしのげない」、「不明」
衛生状況	衛生状態を記入する。	「トイレもゴミも管理されている」、「ゴミがあふれている」、「トイレがあふれている」、「トイレもゴミもあふれている」、「不明」

医療状況	医療提供の状況を記入する。	「医師と薬品がある」、「医師が不足」、「薬品が不足」、「医師も薬品も不足」、「医師も薬品もない」、「不明」
安全状況	避難所の治安状況を記入する。	「安全」、「喧嘩／週」、「喧嘩／日」、「日常的に喧嘩」、「暴動状態」、「不明」
特別支援	糖尿病等、特別に支援が必要な項目を記入する。	

図 6 施設（避難所） 利用時データ項目

宿泊施設型		
種類	施設種類を記入する。	ホテル、旅館、キャンプ場等
チェックインタイム	チェックインの時間を記入する。例:07:00	
チェックアウトタイム	チェックアウトの時間を記入する。	
部屋数	部屋数を記入する。	
クラス	宿泊施設のクラスを記入する。	
レストラン	レストランが有る場合有と記入する。	

図 7 施設（宿泊施設） 利用時データ項目

飲食施設型		
種類	施設種類を記入する。	和食、洋食等
座席数	席数を記入する。	

図 8 施設（飲食施設） 利用時データ項目

システム内でのデータ登録内容、APIに使うデータ項目は以下の項目から選択して使用する。公共設備の特性を考慮して項目を選択し、必要項目がない場合には、独自項目として付加を行う。住所に関しては、様々な表記形式があるが、住所の詳細化などをすべて実施する必要はない。

ic:建物_場所					
	ic:場所_地名				ビルや公園等、地図に表示される地名
	ic:場所_通称				近隣住民等による場所の通称
	ic:場所_地理識別子				
	ic:場所_住所				
		ic:住所_住所			都道府県以下の住所
		ic:住所_構造化住所			
			ic:構造化住所_国		
			ic:構造化住所_都道府県		
			ic:構造化住所_市区町村		
			ic:構造化住所_町名		
			ic:構造化住所_街区符号		半角数字
			ic:構造化住所_住居番号		半角数字
			ic:構造化住所_地番		半角数字
			ic:構造化住所_方書		
				ic:方書_方書	
				ic:方書_ビル名	
				ic:方書_部屋番号	半角英数字。ビル番号がある場合には、「ビル記号-部屋番号」で記載
			ic:構造化住所_郵便番号		半角数字。連続7ケタ、ハイフンなし。

			ic:構造化住所_住所ID			
			ic:構造化住所_住所コード			
	ic:場所_経緯度座標					
		ic:経緯度座標系_緯度				
		ic:経緯度座標系_経度				
	ic:場所_高度					
ic:建物_施設情報						
	ic:施設_ID					
	ic:施設_名称					
	ic:施設_名称略					
	ic:施設_名称英語					
	ic:施設_種別				「博物館」等、施設種別を記入する。 参考資料参照。	
	ic:施設_商用区分				商用施設の場合は「商用」と記載	
	ic:施設_概要				施設の概要を100文字以内で記入する。	
	ic:施設_説明				施設の説明を記入する。	
	ic:施設_利用時間				利用可能日とそれぞれの利用可能時間を記入する。 (下記詳細データの統合) 月:10:00-18:00, 火:10:00-20:00, . . . 等 24時間の場合は、「24時間」と記載。	繰り返し項目
		ic:オープン日			曜日、特定日を記述。24時間の場合は「24時間」と記述。	
		ic:開始時間			利用可能時間の開始時間を9:30のように24時間表記で記述。	
		ic:終了時間			利用可能時間の終了時間を9:30のように24時間表記で記述。	
	ic:施設_料金					
		ic:料金_単位			「大人」「子供」「高齢者」「1回」等、料金の単位を記述。年齢等の条件をつける場合、「子供(小学生)」のように括弧内に記述。その他の例	

					「団体（25名以上の場合の一人料金）」。	
	ic:料金_金額				単位あたりの金額を記述。	
ic:施設_収容人数					収容可能人数を記載	
ic:施設_入口						
	ic:入口名					
	ic:経緯度座標系_緯度					
	ic:経緯度座標系_経度					
ic:施設_駐車場						
	im:駐車場_入口					
		ic:経緯度座標系_緯度				
		ic:経緯度座標系_経度				
	im:駐車場_収容台数					
	im:駐車場_実収容台数					
	im:駐車場_時間回転台数					
	im:駐車場_営業時間					
	im:駐車場_料金					
		ic:料金_単位				
		ic:料金_金額				
ic:施設_保有設備					利用者に限定条件がある場合に条件を記述	
ic:施設_アクセス					公共設備の位置が遠景からもわかる写真を添付。（100KB以内）	

		im:アクセス_ 最寄駅			
			im:駅_ID		
			im:駅_名称		
			im:駅_所在		
				ic:経緯度座 標系_緯度	
				ic:経緯度座 標系_経度	
			im:路線ID		
			im:路線名		
			im:駅_出口ID		
			im:駅_出口名		
			im:駅_出口所在		
				ic:経緯度座 標系_緯度	
				ic:経緯度座 標系_経度	
		im:アクセス_ バス			
			im:バス停id		
			im:バス停_名称		
			im:バス停_所在		
				ic:経緯度座 標系_緯度	
				ic:経緯度座 標系_経度	
			im:バス路線id		
			im:バス路線名		
			im:バス停_方向		行先を記入する。
			im:バス停_連絡 先		
		im:アクセス_ 徒歩時間			
		im:アクセス_ 徒歩時間			

		総時間				
		im:アクセス_タクシー所要時間				
	ic:施設_上位施設					
	ic:施設_サブ施設				施設内に施設名を持つ施設があり、明記する必要がある場合に記入する。	繰り返し項目
	ic:施設_リファレンス				関連ホームページがある際に記述	
ic:連絡先						
	ic:連絡先_名称					
	ic:連絡先_メールアドレス					
	ic:連絡先_住所					
	ic:連絡先_電話番号					
	ic:連絡先_内線番号					
	ic:連絡先_FAX 番号					
	ic:連絡先_URL					
ic:メタデータ						
	ic:メタデータ_最終更新日					
	ic:メタデータ_情報源				本公共施設情報の情報源を記述。自治体データ、個人投稿等。	

図 9 施設共通 内部データ項目

利用可能時間の記述方法

月曜日から金曜までが 9:00-19:00、土日使用不可。12/28-1/3 使用不可の場合、以下の記述となる。アプリケーションでの表示時には「ic:設備_補足」の情報をもとに注意を促す表示が必要となる。

ic:オープン日：月 ic:開始時間：9:00 ic:終了時間：19:00 . . . (火-木) . . .

ic:オープン日：金 ic:開始時間：9:00 ic:終了時間：19:00

im:AED_補足 : 12/28-1/3 使用不可

im:医療機関型						
	im:医療機関_種類					
	im:医療機関_診療科					繰り返し項目
	im:医療機関_夜間診療					
	im:医療機関_休日診療					
	im:医療機関_災害対応					

図 10 施設（医療機関） 内部データ項目

im:子育て施設型						
	im:子育て施設_種類					繰り返し項目
	im:子育て施設_利用可能日齢					
	im:子育て施設_年齢定員					繰り返し項目
		ic:単位			年齢を記入する。	
		ic:数			対象人数を記入する。	
	im:子育て施設_職員					繰り返し項目
		ic:単位			常勤職員、非常勤職員、有資格者等、対象を記入する。	
		ic:数			対象人数を記入する。	
	im:子育て施設_保育スペース					

im:子育施設_待機数					繰り返し項目
	ic:単位			年齢を記入する。	
	ic:数			対象人数を記入する。	
im:子育施設_待機可否					
im:子育施設_平均待機期間					
im:子育施設_入園料					
im:子育施設_料金					
im:子育施設_給食					
im:子育施設_延長保育					
im:子育施設_夜間保育					
im:子育施設_一時預かり					
im:子育施設_送迎					

図 11 施設（子育施設） 内部データ項目

im:高齢者支援施設型					
im:高齢者支援施設_種類					繰り返し項目
im:高齢者支援施設_総定員					
im:高齢者支援施設_利用可能年齢					

im:高齢者支援施設_受入介護レベル					
im:高齢者支援施設_職員数					繰り返し項目
	ic:単位			常勤職員、非常勤職員、有資格者等、対象を記入する。	
	ic:数			対象人数を記入する。	
im:高齢者支援施設_待機者数					
im:高齢者支援施設_平均待機期間					
im:高齢者支援施設_入所料					
im:高齢者支援施設_料金					
im:高齢者支援施設_給食					
im:高齢者支援施設_入浴					
im:高齢者支援施設_機能訓練					
im:高齢者支援施設_送迎					
im:高齢者支援施設_家族の宿泊					
im:高齢者支援施設_最大滞在期間					
im:高齢者支援施設_医療					

図 12 施設（高齢者支援施設） 内部データ項目

im:避難所型

im:避難所_ID					
im:避難所_施設種別					
im:避難所_期間					
im:避難所_開設状況					
im:避難所_収容人数					
im:避難所_実収容人数					
im:避難所_設備				救護設備、備蓄倉庫、給水設備、炊事設備、発電設備、風呂、トイレ	繰り返し項目
im:避難所_状況					繰り返し項目
	im:状況_対象			電源、通信、食料、飲料水、衣類、施設、衛生、医療、安全	
	im:状況_状況			対象毎の選択肢を記入	
im:避難所_特別支援					繰り返し項目
	ic:単位			透析、高齢者等、特別な支援が必要な対象を記入する。	
	ic:数			対象人数を記入する。	

図 13 施設（避難所） 内部データ項目

im:宿泊施設型					
im:宿泊施設_種類					
im:宿泊施設_チェックインタイム				hh:mmで記載する	

	im:宿泊施設_チェックアウトタイム				hh:mmで記載する	
	im:宿泊施設_部屋数					
	im:宿泊施設_クラス					
	im:宿泊施設_レストラン					

図 14 施設（宿泊施設） 内部データ項目

im:飲食施設型						
	im:飲食施設_種類					
	im:飲食施設_種類座席数					

図 15 施設（飲食施設） 内部データ項目

英語名は IMI の命名規則 (NDR) に従い、単語の頭文字を大文字にして英単語を接続している。

また、検索エンジンでの用語の標準化している Schema.org との関係も下表に整理する。利用した Schema.org の分類は、以下の通りである。

Thing > Place

Thing > Intangible > StructuredValue > GeoCoordinates

Thing > Intangible > StructuredValue > ContactPoint > PostalAddress

Thing > Place > CivicStructure

Thing > Intangible > StructuredValue > OpeningHoursSpecification

Thing > Organization > LocalBusiness > ChildCare

Thing > Organization > LocalBusiness > LodgingBusiness

Thing > Organization > LocalBusiness > FoodEstablishment > Restaurant

	英語名	Schema.org
ic:建物_場所	Location	
ic:場所_地名	LocationName	Thing>Place>name
ic:場所_通称	LocationAlternativeName	Thing>Place>alternateName
ic:場所_地理識別子	LocationIdentification	
ic:場所_住所	LocationAddress	
ic:住所_住所	FullAddress	Thing>Place>address
ic:住所_構造化住所	StructuredAddress	
ic:構造化住所_国	Country	Thing>Intangible>StructuredValue>ContactPoint>PostalAddresses>addressCountry
ic:構造化住所_都道府県	Prefecture	Thing>Intangible>StructuredValue>ContactPoint>PostalAddresses>addressRegion
ic:構造化住所_市区町村	City	Thing>Intangible>StructuredValue>ContactPoint>PostalAddresses>addressLocality
ic:構造化住所_町名	AddressArea	(Thing>Intangible>StructuredValue>ContactPoint>PostalAddresses>streetAddress)
ic:構造化住所_街区符号	Thoroughfare	(Thing>Intangible>StructuredValue>ContactPoint>PostalAddresses>streetAddress)
ic:構造化住所_住居番号	HouseNumber	(Thing>Intangible>StructuredValue>ContactPoint>PostalAddresses>streetAddress)
ic:構造化住所_地番	LotNumber	(Thing>Intangible>StructuredValue>ContactPoint>PostalAddresses>streetAddress)
ic:構造化住所_方書	Locator	
ic:方書_方書	LocatorFull	
ic:方書_ビル名	LocatorName	
ic:方書_部屋番号	LocatorDesignator	
ic:構造化住所_郵便番号	PostCode	Thing>Intangible>StructuredValue>ContactPoint>PostalAddresses>postalCode

ic:構造化住所_住所ID	AddressId	
ic:構造化住所_住所コード	AddressCode	
ic:場所_経緯度座標	LocationTwoDimensionalGeographicCoordinate	Thing>Intangible>StructuredValue>GeoCoordinates>GeoCoordinates
ic:経緯度座標系_緯度	GeographicCoordinateLatitude	Thing>Intangible>StructuredValue>GeoCoordinates>latitude
ic:経緯度座標系_経度	GeographicCoordinateLongitude	Thing>Intangible>StructuredValue>GeoCoordinates>longitude
ic:場所_高度	LocationAltitude	Thing>Intangible>StructuredValue>GeoCoordinates>elevation
ic:建物_設備情報	PublicFacility	
ic:設備_ID	PublicFacilityId	
ic:設備_名称	PublicFacilityName	Thing>Place>CivicStructure>name
ic:設備_種類	PublicFacilityType	
ic:設備_設置場所	PublicFacilityPlace	
ic:設備_利用可能時間	ScheduleDayType	
ic:オープン日	ScheduleDate	Thing>Intangible>StructuredValue>OpeningHoursSpecification>dayOfWeek
ic:開始時間	ScheduleDayStartTime	Thing>Intangible>StructuredValue>OpeningHoursSpecification>opens
ic:終了時間	ScheduleDayEndTime	
ic:設備_建物内外	AccessAvailabilityOfPad	
ic:設備_利用者	User	
ic:設備_設置日	DayOfInstallation	
ic:設備_写真	PhotoOfAed	Thing>Place>CivicStructure>photo
ic:設備_ホームページ	Homepage	Thing>Place>CivicStructure>url
ic:設備_設置者	PublicFacilityOwner	
ic:設備_管理者	PublicFacilityOperater	
ic:設備_連絡先	PublicFacilityContactInformation	
ic:連絡先_電話番号	ContactTelephoneNumber	Thing>Intangible>StructuredValue>ContactPoint>telephone
ic:連絡先_内線番号	ContactExtension	
ic:設備_補足	PublicFacilityNote	
ic:設備_情報更新日	DateOfUpdatingInformation	
im:防災設備	AED	
im:防災設備_有効期限	ExpiryDate	
im:防災設備_タイプ	TypeOfDefibrillator	
im:防災設備_モデルナンバー	ModelNumber	
im: 防災設備_シリアルナンバー	SerialNumber	

ic:メタデータ	Metadata	
ic:メタデータ_最終更新日	LastUpdatedDate	
ic:メタデータ_情報源	Source	

図 16 施設共通 英語対応表

im:医療機関型	Hospital	Thing>Place>CivicStructure>Hospital
im:医療機関_種類	HospitalType	
im:医療機関_診療科	MedicalSpecialty	Thing>Place>CivicStructure>Hospital>medicalSpecialty
im:医療機関_夜間診療	MedicalTreatmentAtNight	
im:医療機関_休日診療	MedicalTreatmentOnHoliday	
im:医療機関_災害対応	MedicalTreatmentAtTheTimeOfDisaster	

図 17 施設（医療機関） 英語対応表

im:子育て施設型	ChildCareFacility	Thing>Organization>LocalBusiness>ChildCare
im:子育て施設_種類	ChildCareCategory	
im:子育て施設_利用可能日齢	ChildCareMinAge	
im:子育て施設_年齢定員	ChildCareCapacityForAge	
ic:単位	Unit	
ic:数	Number	
im:子育て施設_職員	ChildCareNoOfStaff	
ic:単位	Unit	
ic:数	Number	
im:子育て施設_保育スペース	ChildCareFacility	
im:子育て施設_待機数	ChildCareNoOfWaiting	
ic:単位	Unit	
ic:数	Number	
im:子育て施設_待機可否	ChildCareWaiting	
im:子育て施設_平均待機期間	ChildCareWaitingPeriod	
im:子育て施設_入園料	ChildCareInitialCost	
im:子育て施設_料金	ChildCareFee	
im:子育て施設_給食	ChildCareMeal	
im:子育て施設_延長保育	ChildCareExtention	
im:子育て施設_夜間保育	ChildCareExtentionAtNight	
im:子育て施設_一時預かり	ChildCareDayService	
im:子育て施設_送迎	ChildCarePickupBus	

図 18 施設（子育て施設） 英語対応表

im:高齢者支援施設型	SeniorSupportFacility	
im:高齢者支援施設_種類	SeniorSupportCategory	
im:高齢者支援施設_総定員	SeniorSupportCapacity	
im:高齢者支援施設_利用可能年齢	SeniorSupportMinAge	

im:高齢者支援施設_受入介護レベル	SeniorSupportSupportLevel	
im:高齢者支援施設_職員数	SeniorSupportNoOfStaff	
ic:単位	Unit	
ic:数	Number	
im:高齢者支援施設_待機者数	SeniorSupportNoOfWaiting	
im:高齢者支援施設_平均待機期間	SeniorSupportWaitingPeriod	
im:高齢者支援施設_入所料	SeniorSupportInitialCost	
im:高齢者支援施設_料金	SeniorSupportFee	
im:高齢者支援施設_給食	SeniorSupportMeal	
im:高齢者支援施設_入浴	SeniorSupportBath	
im:高齢者支援施設_機能訓練	SeniorSupportTraining	
im:高齢者支援施設_送迎	SeniorSupportPickupBus	
im:高齢者支援施設_家族の宿泊	SeniorSupportFamilyStay	
im:高齢者支援施設_最大滞在期間	SeniorSupportMaxPeriod	
im:高齢者支援施設_医療	SeniorSupportMedicalSupport	

図 19 施設（高齢者支援施設） 英語対応表

im:避難所型	FacilityOfRefuge	
im:避難所_ID	FacilityOfRefugeID	
im:避難所_施設種別	FacilityOfRefugeCategories	
im:避難所_期間	FacilityOfRefugeDataRange	
im:避難所_開設状況	FacilityOfRefugeStatus	
im:避難所_収容人数	FacilityOfRefugeCapacity	
im:避難所_実収容人数	FacilityOfRefugeRefugee	
im:避難所_設備	FacilityOfRefugeFacility	
im:避難所_状況	FacilityOfRefugeSituation	
im:状況_対象	Item	
im:状況_状況	Situation	
im:避難所_特別支援	FacilityOfRefugeSpecialNeeds	
ic:単位	Unit	
ic:数	Number	

図 20 施設（避難所） 英語対応表

im:宿泊施設型	Hotel	Thing>Organization>LocalBusiness>LodgingBusiness>Hotel
im:宿泊施設_種類	HotelType	
im:宿泊施設_チェックインタイム	HotelCheckInTime	
im:宿泊施設_チェックアウトタイム	HotelCheckOutTime	

im:宿泊施設_部屋数	HotelNumberOfRoom	
im:宿泊施設_クラス	HotelClass	
im:宿泊施設_レストラン	HotelRestrant	

図 21 施設（宿泊施設） 英語対応表

im:飲食施設型	Restrant	Thing>Organization>LocalBusiness>FoodEstablishment>Restaurant
im:飲食施設_種類	RestrantType	
im:飲食施設_種類座席数	RestrantNumberOfSheet	

図 22 施設（飲食施設） 英語対応表

3. データ作成とアプリ作成の流れ

(1) 対象エリアでの公共施設情報提供者をリストアップする。

都道府県、市町村、地域 NPO 等

(2) データを入手する。必要な場合には、自治体等に問い合わせる。

(3) アプリケーションを企画する。

- ・ 検索アプリ
- ・ 日常的に使う施設アプリとの連携
- ・ ボランティアとの連携システム 等

目的に応じて、表示項目や管理項目を選択する。必要に応じて追加も可能である。
また、自治体等の管理する管理項目名との対照表を作成する。

IMI		当該自治体現状管理情報	Apps表示案
ic:建物 所在			
ic:場所 地名		施設名称	場所
ic:場所 通称			
ic:場所 地理識別子			
ic:場所 住所		住所	住所
	ic:住所 住所		
	ic:住所 構造化住所		
	ic:構造化住所 国		
	ic:構造化住所 都道府県		
	ic:構造化住所 市区町村		
	ic:構造化住所 町名		
	ic:構造化住所 街区符号		
	ic:構造化住所 住居番号		
	ic:構造化住所 地番		
	ic:構造化住所 方書		
	ic:方書 方書		
	ic:方書 ビル名		
	ic:方書 部屋番号		
	ic:構造化住所 郵便番号	郵便番号	
	ic:構造化住所 住所ID		
	ic:構造化住所 住所コード		
ic:場所 経緯度座標			
	ic:経緯度座標系 測地系コード		
	ic:経緯度座標系 緯度		
	ic:緯度 度		
	ic:緯度 分		
	ic:緯度 秒		
	ic:経緯度座標系 経度		
	ic:経度 度		
	ic:経度 分		
	ic:経度 秒		
ic:場所 高度			
ic:建物 公共設備情報			
ic:公共設備ID			
ic:公共設備 名称			
ic:公共設備 設置場所			設置場所
ic:公共設備 利用可能時間			利用可能時間
	ic:オープン日		
	ic:開始時間		
	ic:終了時間		
ic:公共設備 建物内外			建物内外
ic:公共設備 利用者			利用制限
ic:公共設備 設置日		設置日	
ic:公共設備 写真			写真
ic:公共設備 ホームページ			ホームページ
ic:公共設備 設置者		設置者	設置者
		設置者住所	
ic:公共設備 管理者			設置者()内
ic:公共設備 連絡先		電話番号	連絡先
	ic:連絡先 電話番号		
	ic:連絡先 内線番号		
ic:公共設備 補足			補足
AED			
im:AED バッド種類		バッド種類	バッド種類
im:AED 有効期限			有効期限
	im:AED バッド有効期限		
	im:AED バッテリ有効期限		
im:AED 情報源			
im:AED タイプ			
im:AED モデルナンバー			
im:AED シリアルナンバー			
im:AED 使用年数			
ic:metadata			
ic:メタデータ 最終更新日			
ic:メタデータ 情報源			

図 23 AED での対照表例 (表示項目-管理項目-現状データ項目)

- (4) 情報を維持管理、最新化するための仕組みを整備する。たとえば、地域の高齢者に散歩のときに存在確認をしてもらうなど。
- (5) 関連ドキュメントを整備する。
- (6) 他地域へのノウハウ移転を検討する。

4. 施設名一覧

地図等の標準ができた場合には、下記も改訂予定。

道路型	im:道路型	im:Road Type
道路	im:道路	Road
通り	im:通り	Street
遊歩道	im:遊歩道	PenedestrianRoute
階段	im:階段	Stairs
エレベータ	im:エレベータ	Elevator
エスカレータ	im:エスカレータ	Escalator
スロープ	im:スロープ	Slope
小径	im:小径	Path
橋	im:橋	Bridge
交通機関型	im:交通機関型	im:Transportation Type
空港	im:空港	Airport
ヘリポート	im:ヘリポート	Heliport
タクシー乗り場	im:タクシー乗り場	TaxiStand
レンタカー	im:レンタカー	CarRental
レンタル自転車	im:レンタル自転車	BycycleRental
駐輪場	im:駐輪場	BicycleParkingLot
駐車場	im:駐車場	Parking
ロープウェイ	im:ロープウェイ	Ropeway
リフト	im:リフト	Lift
ケーブルカー	im:ケーブルカー	CableCar
船着き場	im:船着き場	BoatTerminal
海上輸送	im:海上輸送	FerryService
カーフェリー	im:カーフェリー	FerryServicePassengersAndCar
旅客船	im:旅客船	FerryServicePassengerOnly
駅型	im:駅型	im:Station Type
駅ID	im:駅_ID	StationID
名称	im:駅_名称	StationName
所在	im:駅_所在	StationLocation
路線ID	im:路線ID	RailwayId
路線名	im:路線名	RailwayName
出口ID	im:駅_出口ID	StationExitId
出口名	im:駅_出口名	StationExitName
出口所在	im:駅_出口所在	StationExitLocation
ランドマーク	ランドマーク型	Landmark Type
広場	im:広場	Place
噴水	im:噴水	Fountain
運河	im:運河	Canal
川	im:川	River
湖	im:湖	Lake
池	im:池	Pond
港	im:港	Port
灯台	im:灯台	Lighthouse
建物	im:建物	Building
警察署	im:警察署	PoliceStation

交番	im:交番	PoliceBox
消防署	im:消防署	FireStation
消防署出張所・消防団詰所	im:消防出張所	FireSubstation
郵便局	im:郵便局	PostOffice
学校	im:学校	School
授乳室・育児室	im:授乳室・育児室	Nursery
子育て支援施設	im:子育て支援施設	CareCenter
保育園	im:保育園	NurserySchool
幼稚園等	im:幼稚園	Kindergarden
学童保育クラブ	im:学童保育クラブ	AfterSchoolProgram
小学校	im:小学校	ElementarySchool
中学校	im:中学校	JuniorHighSchool
高校	im:高校	HighSchool
専修学校	im:専修学校	VocationalSchool
短期大学	im:短期大学	College
大学	im:大学	University
生涯学習施設	im:生涯学習施設	LearningCenter
文化施設	im:文化施設	CultureCenter
図書館	im:図書館	Library
児童館	im:児童館	ChildrensCenter
子供避難所	im:子供避難所	ShelterForChirdren
病院	im:病院	Hospital
保健所等	im:保健所等	HealthCenter
老人ホーム	im:老人ホーム	HomeForAged
介護付き老人ホーム	im:介護付き老人ホーム	NurcingHome
福祉センター	im:福祉センター	WelfareFacility
介護支援センター	im:介護支援センター	CareManagementCenter
都道府県庁舎	im:都道府県庁舎	PrefecturalOffice
市庁舎	im:市庁舎	CityHall
区役所	im:区役所	WardOffice
市政窓口	im:市政窓口	CityBranch
教育センター	im:教育センター	EducationalCenter
消費者活動センター	im:消費者活動センター	ConsumersCenter
各種相談所	im:各種相談所	CounselingCenter
公営住宅	im:公営住宅	PublicHousing
観光案内所	im:観光案内所型	TouristInformationCenter Type
法務局	im:法務局	Legal Affairs Bureau
税務署	im:税務署	TaxOffice
運転免許試験場	im:運転免許試験場	DriversLicenseTestCenter
職業安定所	im:職業安定所	JobPlacementOffice
ごみ処理施設	im:ごみ処理施設	WasteIncinerationPlant
資源回収実施場所	im:資源回収実施場所	Recycle point
市民活動施設・産業支援施設	im:市民活動施設・産業支援施設	IncubationCenter
コミュニティー・センター	im:コミュニティー・センター	CommunityCenter
上水道施設	im:上水道施設	Water Supply Facility
下水道施設	im:下水道施設	Sewage Treatment Plant
投票所	im:投票所	Polling Place

公共施設	im:公共施設	Public Building
大使館等	im:大使館等	Embassy
銀行	im:銀行	Bank
ATM	im:ATM	ATM
工場	im:工場	Factory
市場	im:市場	Market
神社	im:神社	Shrine
寺	im:寺	Temple
教会	im:教会	Church
モスク	im:モスク	Mosque
宗教的建造物	im:宗教的建造物	Religious Facility
門	im:門	Gate
城	im:城	Castle
城壁	im:城壁	Wall
展望	im:展望	View
展望台	im:展望台	ViewingTable
花の名所	im:花の名所	PlaceOfFlower
記念碑	im:記念碑	Monument
遺跡	im:遺跡	Ruins
洞窟、鍾乳洞	im:洞窟、鍾乳洞	Cave
史跡	im:史跡	HistoricSpot
温泉	im:温泉	Onsen
風車	im:風車	Windmill
ダム	im:ダム	Dam
墓地	im:墓地	Cemetery
スポーツ施設	im:スポーツ施設	Sports Center
競技場	im:競技場	Stadium
テニスコート	im:テニスコート	TennisCourt
ゲートボール場	im:ゲートボール場	GateballField
ゴルフ場	im:ゴルフ場	GolfCourse
プール	im:プール	Pool
スケート場	im:スケート場	SkatingRink
スキー場	im:スキー場	SkiArea
山小屋	im:山小屋	MountainHut
キャンプ場	im:キャンプ場	Campground
ヨットハーバー	im:ヨットハーバー	PleasureBoatHarbour
電波塔	im:電波塔	CommunicationTower
給水塔	im:給水塔	WaterTower
塔	im:塔	Tower
店	im:店	Shop
商業施設	im:商業施設	CommercialFacility
買い物エリア	im:買い物エリア	ShoppingArea
コインロッカー	im:コインロッカー	Locker
その他施設	im:その他施設	OtherFacilities
博物館	im:博物館	Museum
美術館	im:美術館	Gallery
ホール	im:ホール	Hall
劇場	im:劇場	Theater

	公園	im:公園	Park
--	----	-------	------

共通語彙基盤
(IMI)

International Open Data Day 2014
イベント（アクティビティ）-apps 開発支援キット
Ver.0.11

平成26年2月20日

目 次

1. 本開発キットの目的	1
2. データ項目	3
3. データ作成とアプリ作成の流れ	8

図 表 目 次

図 1 共通語彙基盤 (IMI) のイメージ	2
図 2 主なデータ項目	3
図 3 詳細データ項目	4
図 4 英語対応、schema.org 対応	7

本資料は、共通語彙基盤検討のワーキングドラフトであり、今後の検討により変更することもある。ただし、情報項目は十分に検討されており、軽微な変更にとどまると考えられる。また、本開発キットのデータ項目は、apps 等の情報交換用データ項目であり、イベントを管理するための標準を定義するものではない。

また、語彙基盤は利用しながら改善を行うものであることから、意見や本開発キットを利用して apps を開発した場合にはご連絡いただければ幸いです。

経済産業省商務情報政策局 情報プロジェクト室 it-p@meti.go.jp

修正履歴

2014-2-17	図 3 ic:設備_種類 ic:連絡先_メールアドレス を追加
2014-2-17	図 4 Schema.org の表記を変更

1. 本開発キットの目的

イベントやアクティビティは、5W1Hを持つ情報である。

イベントとは、展示会、催事等、日常的に生活や事業の周りにあるできごとはもちろんのこと、災害時には、給水、支援制度説明会等も含まれ、特に、いつどこで開催されるのかが重要な情報である。告知情報として広く流通する場合が多い。

アクティビティは、業務などで行う活動を表す。施設の巡回、広報活動、相談業務等、が含まれ、イベントと同様に、いつどこで行ったかが重要な情報になる。

イベント情報は、広報誌、web、メール等の様々なメディアで活用されるが、定型で管理することで、メディアに合わせた編集作業から解放されやすくなる。もしメディア側が多様な要求をしてきたとしても、情報ソースを一元化しておくことで、情報配信業務が一元化される。またメディア側も、様々なイベント開催機関から共通の形式で情報が集まれば、機械的な前処理も可能で情報編集が効率化される。

アクティビティ情報は、業務報告などに利用されるが、定型化することで、複数部門の業務報告をまとめる時に便利である。

業務の一環でイベントを行う場合もある。その場合は、アクティビティの情報とイベントの情報が統一された情報形式で管理されていれば、外部向けの情報提供と内部管理の双方を同時に効率化することが可能となる。

本開発キットは、イベントやアクティビティの情報を公開、交換、管理するための IEPD (Information Exchange Package Document) を Apps 開発用に解説したものである。

開発支援キットの目的

- ハッカソンで作る apps の情報整理作業の軽減
 - ハッカソン開始時から、アプリの企画と開発に専念できる
- ハッカソンで作った apps の住民視点での広域連携性の確保
 - アプリが、ハッカソンの当該エリアだけでなく、周辺地域でも使えると住民には便利
- ハッカソンで作った apps の広域流通性確保
 - アプリが他の地域で使えるのであれば、社会的意義が大きく、ビジネスになる可能性もある。
- ハッカソンで作った apps の分野横断連携
 - 住所などの基本情報の形式を分野横断で共有できるので、様々な分野で作った apps をマッシュアップや連携しやすくなる。

共通語彙基盤は、基本的な語彙とその意味を定義し、組織や部門、分野を超えて各種の社会活動を円滑に行うための基盤であり、「世界最先端 IT 国家宣言」（平成 25 年 6 月閣議決定）の一環として推進されている。

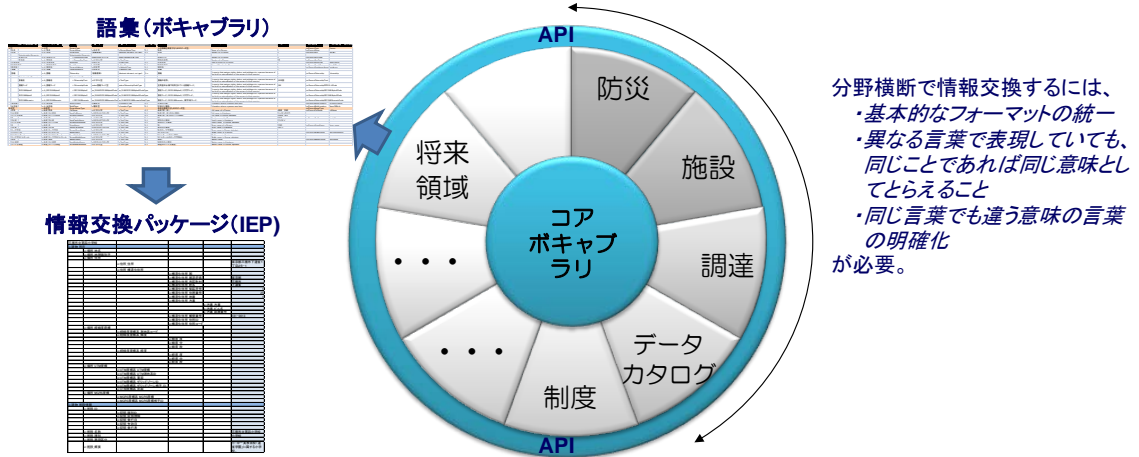


図 1 共通語彙基盤 (IMI) のイメージ

IMI(Infrastructure for Multi - layer Interoperability) <http://goikiban.ipa.go.jp/node/20130925/>

2. データ項目

主なデータ項目と記述イメージは、以下の通りである。

データ項目名	説明	備考
活動名	イベント等の名前を記述する。「第*回***」やサブタイトルもここに記入。このイベントも含む複数のイベントを総括するイベントがある場合には、上位活動にその名前を記載する。	
識別子	イベント等に ID がある場合記入。	
分類	イベント等の分類を記入する。 展示会、フリーマーケット等 (将来は項目名も共通化することが望ましい)	複数記載可。
所在	場所情報を記載する。	詳細化可。
期間	活動の開始日と終了日を記載する。	詳細化可。
スケジュール	開始時間、終了時間を記載する。	詳細化可。
申込期間	申し込みの開始日と終了日を記載する。	詳細化可。
概要	100 字以内で概要を記載する。	
説明	活動の説明を記載する。	
上位活動	本活動を含む上位の活動がある場合には、その名前を記載する。	
サブ活動	本活動に含まれるサブ活動がある場合には記載する	
対象者	本活動の対象者を記載する。	
定員	本活動の定員を記載する。	
キーワード	本活動に関連したキーワードを記載する。	複数記載可。
料金	本活動に参加するために必要な料金を記載する。大人、子供や 1 回等の条件と合わせて記載する。	詳細化可。
活動理由	活動理由が必要な場合に記載する。	
活動状況	活動状況の記載が必要な場合に記載する。	複数記載可。
活動結果	活動結果の記載が必要な場合に記載する。	複数記載可。
組織関連	主催、後援等の組織の情報を記載する。	詳細化可。
連絡先情報	活動に関する連絡先を記載する。	詳細化可。

図 2 主なデータ項目

システム内でのデータ登録内容、API に使うデータ項目は以下の項目から選択して使用する。ただし、住所の詳細化などをすべて実施する必要はない。

ic:活動_活動名				活動名を記入する	
ic:活動_識別子				イベント番号などがあるときに記入	
ic:証明_識別ID					
ic:証明_証明種類					
ic:証明_発行日					
ic:証明_失効日					
Ic:証明_発行者					
ic:活動_分類				展覧会、演奏会、講演会、イベント、勉強会、相談会、フリーマーケット、見学会、講座、観劇会、その他	
ic:建物_所在					
ic:場所_地名				ビルや公園等、地図に表示される地名	
ic:場所_通称				近隣住民等による場所の通称	
ic:場所_地理識別子					
ic:場所_住所					
	ic:住所_住所			都道府県以下の住所	
	ic:住所_構造化住所				
		ic:構造化住所_国			
		ic:構造化住所_都道府県			
		ic:構造化住所_市区町村			
		ic:構造化住所_町名			
		ic:構造化住所_街区符号		半角数字	
		ic:構造化住所_住居番号		半角数字	
		ic:構造化住所_地番		半角数字	
		ic:構造化住所_			

			方書		
				ic:方書_方書	
				ic:方書_ビル名	
				ic:方書_部屋番号	半角英数字。ビル番号がある場合には、「ビル記号-部屋番号」で記載
			ic:構造化住所_郵便番号		半角数字。連続7ケタ、ハイフンなし。
			ic:構造化住所_住所ID		
			ic:構造化住所_住所コード		
	ic:場所_経緯度座標				
		ic:経緯度座標系_緯度			
		ic:経緯度座標系_経度			
	ic:場所_高度				
ic:活動_期間					
	ic:開始日				活動の開始日を記述。
	ic:終了日				活動の終了日を記述。
ic:活動_時間					
	ic:オープン日				曜日、特定日を記述。24時間の場合は「24時間」と記述。
	ic:開始時間				活動の開始時間を9:30のように24時間表記で記述。
	ic:終了時間				活動の終了時間を9:30のように24時間表記で記述。
ic:活動_登録期間					
	ic:開始時間				受付の開始時間を9:30のように24時間表記で記述。

	ic:終了時間				受付の終了時間を9:30のように24時間表記で記述。	
ic:活動_申込期間						
	ic:開始日				申し込みの開始日を記述。	
	ic:終了日				申し込みの終了日を記述。	
	ic:開始時間				申し込みの開始時間を9:30のように24時間表記で記述。	
	ic:終了時間				申し込みの終了時間を9:30のように24時間表記で記述。	
ic:活動_概要						
ic:活動_説明						
ic:活動_上位活動						
ic:活動_サブ活動						
ic:活動_対象者						
ic:活動_人数						
ic:活動_キーワード						
ic:活動_料金						
	ic:料金_単位				大人、S席等の料金区分を記述。	
	ic:料金_金額				料金を円単位で記述。	
ic:活動_活動理由						
ic:活動_活動状況						
ic:活動_活動結果						
ic:活動_組織関連						
	ic:組織関連_組織					
		ic:組織_組織名			組織名を正式名で記述	
		ic:組織_通称名				

		ic:組織_場所				
		ic:組織_連絡先				
	ic:組織関連_役割				主催、後援等役割を記述	
ic:連絡先型						
	ic:連絡先_名称				連絡先の名称を記述	
	ic:連絡先_担当者名				連絡先の担当者名を記述	
	ic:連絡先_電話番号				連絡先の電話番号を記述	
	ic:連絡先_内線番号				連絡先の内線番号を記述	
	ic:連絡先_メールアドレス				連絡先のメールアドレスを記述	
	ic:連絡先_url				連絡先のurlを記述	
ic:メタデータ						
	ic:メタデータ_最終更新日					
	ic:メタデータ_情報公開日				本AED情報の情報源を記述。自治体データ、個人投稿等。	

図 3 詳細データ項目

英語名は IMI の命名規則 (NDR) に従い、単語の頭文字を大文字にして英単語を接続している。

また、検索エンジンでの用語の標準化している Schema.org との関係も下表に整理する。利用した Schema.org の分類は、以下の通りである。

Thing > Event

Thing > Place

Thing > Intangible > StructuredValue > ContactPoint > PostalAddress

Thing > Person

Thing > Organization

	英語名	Schema.org
ic:活動_活動名	ActivityName	Thing>Event>name
ic:活動_識別子	ActivityIdentification	
ic:証明_識別ID	IdentificationID	
ic:証明_証明種類	IdentificationCategory	
ic:証明_発行日	IssueDate	
ic:証明_失効日	ExpirationDate	
ic:証明_発行者	IssuingAuthority	
ic:活動_分類	ActivityCategoryText	Thing>Event>additionalType
ic:活動_場所	ActivityLocation	Thing>Event>location
ic:場所_地名	LocationName	Thing>Place>name
ic:場所_通称	LocationAlternativeName	Thing>Place>alternateName
ic:場所_地理識別子	LocationIdentification	
ic:場所_住所	LocationAddress	
ic:住所_住所	FullAddress	Thing>Place>address
ic:住所_構造化住所	StructuredAddress	
ic:構造化住所_国	Country	Thing>Intangible>StructuredValue>ContactPoint>PostalAddress>addressCountry
ic:構造化住所_都道府県	Prefecture	Thing>Intangible>StructuredValue>ContactPoint>PostalAddress>addressRegion
ic:構造化住所_市区町村	City	Thing>Intangible>StructuredValue>ContactPoint>PostalAddress>addressLocality
ic:構造化住所_町名	AddressArea	(Thing>Intangible>StructuredValue>ContactPoint>PostalAddress>streetAddress)
ic:構造化住所_街区符号	Thoroughfare	(Thing>Intangible>StructuredValue>ContactPoint>PostalAddress>streetAddress)
ic:構造化住所_住居番号	HouseNumber	(Thing>Intangible>StructuredValue>ContactPoint>PostalAddress>streetAddress)
ic:構造化住所_地番	LotNumber	(Thing>Intangible>StructuredValue>ContactPoint>PostalAddress>streetAddress)
ic:構造化住所_方書	Locato r	
ic:方書_方書	Locato r Full	
ic:方書_ビル名	Locato r Name	

ic:方書_部屋番号	LocatorDesignator	
ic:構造化住所_郵便番号	PostCode	Thing>Intangible>StructuredValue>ContactPoint>PostalAddress>postalCode
ic:構造化住所_住所ID	AddressID	
ic:構造化住所_住所コード	AddressCode	
ic:場所_経緯度座標	LocationTwoDimensionalGeographicCoordinate	Thing>Intangible>StructuredValue>GeoCoordinates>GeoCoordinates
ic:経緯度座標系_緯度	GeographicCoordinateLatitude	Thing>Intangible>StructuredValue>GeoCoordinates>latitude
ic:経緯度座標系_経度	GeographicCoordinateLongitude	Thing>Intangible>StructuredValue>GeoCoordinates>longitude
ic:場所_高度	LocationAltitude	Thing>Intangible>StructuredValue>GeoCoordinates>elevation
ic:活動_期間	ActivityDateRange	Thing>Event>duration
ic:期間_開始日	ic:StartDate	Thing>Event>startDate
ic:期間_終了日	ic:EndDate	Thing>Event>endDate
ic:活動_時間	ActivitySchedule	
ic:オープン日	nc:ScheduleDate	Thing>Intangible>StructuredValue>OpeningHoursSpecification>dayOfWeek
ic:開始時間	nc:ScheduleDayStartTime	Thing>Intangible>StructuredValue>OpeningHoursSpecification>opens
ic:終了時間	nc:ScheduleDayEndTime	
ic:活動_概要	ActivityAbstract	Thing>Event>description
ic:活動_説明	ActivityDescriptionText	Thing>Event>description
ic:活動_上位活動	ActivitySuperActivity	Thing>Event>superEvent
ic:活動_サブ活動	ActivitySubActivity	Thing>Event>subEvent
ic:活動_対象者	ActivityAttendee	Thing>Event>attendee
ic:活動_キーワード	ActivityKeyword	
ic:活動_料金	ActivityAdmission	
ic:活動_活動理由	ActivityReasonText	
ic:活動_活動状況	ActivityStatus	
ic:活動_活動結果	ActivityDisposition	
ic:組織関連	OrganizationAssociation	
ic:組織関連_組織	OrganizationAssociationName	Thing>Organization
ic:組織関連_役割	OrganizationAssociationRole	
ic:建物_連絡先情報	ContactInformation	ContactPoint
ic:連絡先_名称	ContactName	Thing>Intangible>StructuredValue>ContactPoint>name
ic:連絡先_メールアドレス	ContactEmailID	Thing>Intangible>StructuredValue>ContactPoint>Email
ic:連絡先_住所	ContactMailingAddress	Thing>Intangible>StructuredValue>ContactPoint>address
ic:連絡先_電話番号	ContactTelephoneNumber	Thing>Intangible>StructuredValue>ContactPoint>telephone
ic:連絡先_内線	ContactExtension	

ic:連絡先_FAX番号	ContactFaxNumber	Thing>Intangible>StructuredValue>ContactPoint>faxNumber
ic:連絡先_URL	ContactWebsiteURI	Thing>Intangible>StructuredValue>ContactPoint>url

図 4 英語対応、schema.org 対応

3. データ作成とアプリ作成の流れ

- (1) イベントや活動の情報交換、公開、管理に必要なデータ項目を選択する。
また、必要に応じてデータ項目を追加する。

自治多胎のイベント情報項目には、子育て施設有無や持ち物などの項目もある。

- (2) イベント情報を収集する。
- (3) アプリケーションを企画する。
- (4) アプリケーションを整備する。
- (5) 関連ドキュメントを整備する。
- (6) 他地域へのノウハウ移転を検討する。

(参考)本項目の整備方法

政府後援のイベントの情報、schema.org の情報を参考に作成。

共通語彙基盤
(IMI)

International Open Data Day 2014
公共設備-apps 開発支援キット Ver.0.1

平成26年2月20日

目 次

1. 本開発支援キットの目的	1
2. データ項目	3
3. データ作成とアプリ作成の流れ	13

図 表 目 次

図 1 情報管理のイメージ	1
図 2 共通語彙基盤 (IMI) のイメージ	2
図 2 公共設備共通 データ項目	4
図 3 公共設備 (防災設備) 付加データ項目	4
図 4 公共設備 (トイレ) 付加データ項目	4
図 5 公共設備 (AED) 付加データ項目	4
図 6 公共設備共通 内部データ項目	7
図 7 公共設備 (防災設備) 内部データ項目	8
図 8 公共設備 (トイレ) 内部データ項目	8
図 9 公共設備 (AED) 内部データ項目	9
図 10 公共設備共通 英語対応表	11
図 11 公共設備 (防災設備) 英語対応表	12
図 12 公共設備 (トイレ) 英語対応表	12
図 13 公共設備 (AED) 英語対応表	12
図 14 AED での対照表例 (表示項目-管理項目-現状データ項目)	14

本資料は、共通語彙基盤検討のワーキングドラフトであり、今後の検討により変更することもある。ただし、情報項目は十分に検討されており、軽微な変更にとどまると考えられる。また、本開発キットのデータ項目は、apps 等の情報交換用データ項目であり、公共設備を管理するための標準を定義するものではない。

また、語彙基盤は利用しながら改善を行うものであることから、意見や本開発キットを利用して apps を開発した場合にはご連絡いただければ幸いです。

経済産業省商務情報政策局 情報プロジェクト室 it-p@meti.go.jp

修正履歴
なし

1. 本開発支援キットの目的

本開発キットは、公共設備（トイレ、街灯、ベンチ、AED 等）や 防災設備（消火器、消火栓、防火水槽等）の情報を公開、交換、管理するための IEPD（Information Exchange Package Document）を Apps 開発用に解説したものである。

公共設備の情報は利用可能性を伝えることが重要である。そのためには、位置情報、利用可能時間が重要な情報となる。

公共設備の共通情報をベースに、各種目的別設備の情報を付加できる仕組みにすることで、様々な設備状況を共通的な仕組みで管理することができる。このような仕組みにより、日常的に使う設備類の情報と非常時に使う情報を合わせて管理ができることは防災上も非常に重要である。

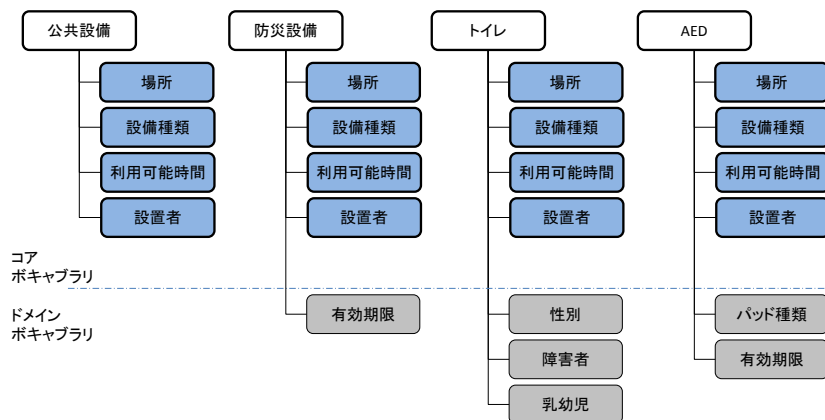


図 1 情報管理のイメージ

また、公共設備の情報が存在しているが、設備の故障等で使用できない時がある。存在や状況確認情報も併せて情報管理することが望ましい。

開発支援キットの目的

- ハッカソンで作る apps の情報整理作業の軽減
 - ハッカソン開始時から、apps の企画と開発に専念できる
- ハッカソンで作った apps の住民視点での広域連携性の確保
 - apps が、ハッカソンの当該エリアだけでなく、周辺地域でも使えると、住民に便利
- ハッカソンで作った apps の広域流通性確保
 - apps が他の地域で使えるのであれば、社会的意義が大きく、ビジネスになる可能性もある。
- ハッカソンで作った apps の分野横断連携
 - 住所などの基本情報の形式を分野横断で共有できるので、様々な分野で作った apps をマッシュアップや連携しやすくなる。

共通語彙基盤は、基本的な語彙とその意味を定義し、組織や部門、分野を超えて各種の社会活動を円滑に行うための基盤であり、「世界最先端 IT 国家宣言」（平成 25 年 6 月閣議決定）の一環として推進されている。

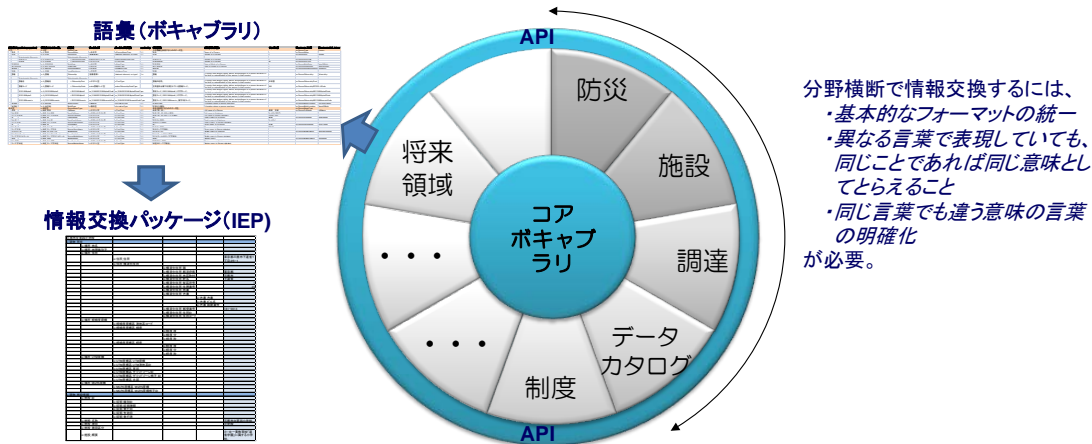


図 2 共通語彙基盤 (IMI) のイメージ


IMI(Infrastructure for Multi - layer Interoperability) <http://goikiban.ipa.go.jp/node/20130925/>

2. データ項目

データ項目は、アプリなどで表示する利用イメージと、情報管理用のデータ項目からなる。

利用イメージは、以下の通りである。

ただし、P5以降にシステム内でのデータ登録内容、APIに使うデータ項目を示すが、appsの目的等に応じ、その中から、情報を追加するなど、カスタマイズして利用する。もちろん、apps専用で独自のデータ項目追加は、必要に応じて実施可能である。

データ項目名	説明	備考
場所(施設名)	施設名、場所名がある場合には記入する。	〇〇交差点、〇〇病院等の一般に通じる名前を記入。
場所(住所)	都道府県名から番地まで区切りなく記入する。丁目以下は半角数字で記載し、ハイフンで接続。 東京都千代田区霞が関 1-3-1 等	FullAddress形式。 構造化データでデータを管理している場合はデータを連結して表示。
公共設備情報		
設備種類	公共設備種別を記載。 公共設備 「街灯」「ベンチ」「水飲み場」「地図」 「タクシー乗り場」「バス停」「標識」 「公衆電話」等 防災設備 「消火器」「消火栓」「防火水槽」 「井戸」「給水所」等	
設置場所	「受付前」等、利用者がすぐに見つけやすい詳細設置場所情報を記入する。	
利用可能時間	利用可能日とそれぞれの利用可能時間を記入する。 月:10:00-18:00,火:10:00-20:00,・・・等 24時間の場合は、「24時間」と記載	管理用データを連結して表示。 直接、左記の形式で記入することも可能
建物内外	「建物内」、「建物外」を記入する。	
利用制限	一般利用できる場合は、「一般利用可」 居住者用等、利用者に制約がある場合に 「利用制限有」と記入する。	鍵のかかったビル内に設置されている等の制約がある場合に記入
写真	付近まで来れば設置場所が分かる遠景写真を添付する。(100KB以内)	
URL	関連ホームページがある場合に記入する。	
設置者	公共設備の設置主体を記入する。	〇〇市、〇〇商店等を記載。 管理委託がされていて、連絡先が違う場合は〇〇市(〇〇財団)と()内に記入。
連絡先電話	公共設備に関する連絡先電話番号を記入	内線がある場合は、**-****-

	する。半角数字で - で接続。 **_****_****	****(****)と()内に記入。
補足	補足情報がある場合に記入する。	

図 3 公共設備共通 データ項目

防災設備		
有効期限	消火器のように有効期限がある場合には、有効期限を記入する。	

図 4 公共設備（防災設備） 付加データ項目

トイレ設備		
性別	「男」「女」「男女」を記入する。	
車いす	車いすでの利用が可能な場合には、「可」と記入する。	
乳幼児	おむつ交換台等がある場合に「有」と記入する。	
タイプ	「和式」「洋式」を記入する。	
定員	利用可能人数を記入する。	

図 5 公共設備（トイレ） 付加データ項目

AED		
パッド種類	「大人用」、「子供用」を記入する。	複数記載可。管理用データを連結して表示
有効期限	AED の有効期限を記入する。	パッドとバッテリーの有効期限の短いほうを表示。

図 6 公共設備（AED） 付加データ項目

システム内でのデータ登録内容、APIに使うデータ項目は以下の項目から選択して使用する。公共設備の特性を考慮して項目を選択し、必要項目がない場合には、独自項目として付加を行う。住所に関しては、様々な表記形式があるが、住所の詳細化などをすべて実施する必要はない。

ic:建物_場所					
	ic:場所_地名				ビルや公園等、地図に表示される地名
	ic:場所_通称				近隣住民等による場所の通称
	ic:場所_地理識別子				
	ic:場所_住所				
		ic:住所_住所			都道府県以下の住所
		ic:住所_構造化住所			
			ic:構造化住所_国		
			ic:構造化住所_都道府県		
			ic:構造化住所_市区町村		
			ic:構造化住所_町名		
			ic:構造化住所_街区符号		半角数字
			ic:構造化住所_住居番号		半角数字
			ic:構造化住所_地番		半角数字
			ic:構造化住所_方書		
				ic:方書_方書	
				ic:方書_ビル名	
				ic:方書_部屋番号	半角英数字。ビル番号がある場合には、「ビル記号-部屋番号」で記載
			ic:構造化住所_郵便番号		半角数字。連続7ケタ、ハイフンなし。

			ic:構造化住所_住所ID			
			ic:構造化住所_住所コード			
	ic:場所_経緯度座標					
		ic:経緯度座標系_緯度				
		ic:経緯度座標系_経度				
	ic:場所_高度					
ic:建物_設備情報						
	ic:設備_ID					
	ic:設備_名称					
	ic:設備_種類				公共設備種別を記載。 公共設備 「街灯」「ベンチ」「水飲み場」「地図」「タクシー乗り場」「バス停」「標識」「公衆電話」等 防災設備 「消火器」「消火栓」「防火水槽」「井戸」「給水所」等	
	ic:設備_設置場所				受付横等、設置場所を示す内容を記述	
	ic:設備_利用可能時間				利用可能日とそれぞれの利用可能時間を記入する。(下記詳細データの統合) 月:10:00-18:00,火:10:00-20:00,・・・等 24時間の場合は、「24時間」と記載。	繰り返し項目
		ic:オープン日			曜日、特定日を記述。24時間の場合は「24時間」と記述。	
		ic:開始時間			利用可能時間の開始時間を9:30のように24時間表記で記述。	
		ic:終了時間			利用可能時間の終了時間を9:30のように24時間表記で記述。	
	ic:設備_建物内外					
	ic:設備_利用者				「建物内」か「建物外」かを記述	

ic:設備_設置日				利用者に限定条件がある場合に条件を記述	
ic:設備_写真				公共設備の位置が遠景からもわかる写真を添付。(100KB以内)	
ic:設備_url				関連ホームページがある際に記述	
ic:設備_設置者				自治体名や組織名を記載。株式会社等も省略しないで記述。	
ic:設備_管理者				組織名を記載。株式会社等も省略しないで記述。	
ic:設備_連絡先				連絡先の電話番号を記述	
	ic:連絡先_電話番号			連絡先の電話番号を記述	
	ic:連絡先_内線番号			連絡先の内線番号を記述	
	ic:連絡先_メールアドレス			連絡先のメールアドレスを記述	
ic:設備_補足				全体としての補足情報がある場合に記述。	
ic:メタデータ					
ic:メタデータ_最終更新日					
ic:メタデータ_情報源				本公共施設情報の情報源を記述。自治体データ、個人投稿等。	

図 7 公共設備共通 内部データ項目

利用可能時間の記述方法

月曜日から金曜までが 9:00-19:00、土日使用不可。12/28-1/3 使用不可の場合、以下の記述となる。アプリケーションでの表示時には「ic:設備_補足」の情報をもとに注意を促す表示が必要となる。

ic:オープン日：月 ic:開始時間：9:00 ic:終了時間：19:00 . . . (火-木) . . .
 ic:オープン日：金 ic:開始時間：9:00 ic:終了時間：19:00
 im:AED_補足：12/28-1/3 使用不可

im:防災設備						
	im: 防災設備_有効期限				有効期限を記述。yyyy-mm-dd形式。	
	im: 防災設備_タイプ					
	im: 防災設備_モデルナンバー					
	im: 防災設備_シリアルナンバー					

図 8 公共設備（防災設備） 内部データ項目

トイレ						
	im: トイレ_性別				「男」「女」「男女」を記入する。	
	im: トイレ_車いす				車いすでの利用が可能な場合には、「可」と記入する。	
	im: トイレ_乳幼児				おむつ交換台等ある場合に「有」と記入する。	
	im: トイレ_タイプ				「和式」「洋式」を記入する。	
	im: トイレ_定員				個室の利用可能人数を記入する。	

図 9 公共設備（トイレ） 内部データ項目

im:AED						
	im:AED_パッド種類				「大人用」「子供用」「大人用、子供用」を記述	
	im:AED_有効期限				パッドとバッテリーの短いほうの有効期限を記述 yyyy-mm-dd形式。	
		im:AED_パッド有効期限				
		im:AED_バッテリー有効期限				
	im:AED_タイプ					
	im:AED_モデルナンバー					
	im:AED_シリアルナ					

	ンバー					
	im:AED_使用年数					

図 10 公共設備 (AED) 内部データ項目

英語名は IMI の命名規則 (NDR) に従い、単語の頭文字を大文字にして英単語を接続している。

また、検索エンジンでの用語の標準化している Schema.org との関係も下表に整理する。利用した Schema.org の分類は、以下の通りである。

Thing > Place

Thing > Intangible > StructuredValue > GeoCoordinates

Thing > Intangible > StructuredValue > ContactPoint > PostalAddress

Thing > Place > CivicStructure

Thing > Intangible > StructuredValue > OpeningHoursSpecification

	英語名	Schema.org
ic:建物_場所	Location	
ic:場所_地名	LocationName	Thing>Place>name
ic:場所_通称	LocationAlternativeName	Thing>Place>alternateName
ic:場所_地理識別子	LocationIdentification	
ic:場所_住所	LocationAddress	
ic:住所_住所	FullAddress	Thing>Place>address
ic:住所_構造化住所	StructuredAddress	
ic:構造化住所_国	Country	Thing>Intangible>StructuredValue>ContactPoint>PostalAddresses>addressCountry
ic:構造化住所_都道府県	Prefecture	Thing>Intangible>StructuredValue>ContactPoint>PostalAddresses>addressRegion
ic:構造化住所_市区町村	City	Thing>Intangible>StructuredValue>ContactPoint>PostalAddresses>addressLocality
ic:構造化住所_町名	AddressArea	(Thing>Intangible>StructuredValue>ContactPoint>PostalAddresses>streetAddress)
ic:構造化住所_街区符号	Thoroughfare	(Thing>Intangible>StructuredValue>ContactPoint>PostalAddresses>streetAddress)
ic:構造化住所_住居番号	HouseNumber	(Thing>Intangible>StructuredValue>ContactPoint>PostalAddresses>streetAddress)
ic:構造化住所_地番	LotNumber	(Thing>Intangible>StructuredValue>ContactPoint>PostalAddresses>streetAddress)
ic:構造化住所_方書	Locator	
ic:方書_方書	LocatorFull	
ic:方書_ビル名	LocatorName	
ic:方書_部屋番号	LocatorDesignator	
ic:構造化住所_郵便番号	PostCode	Thing>Intangible>StructuredValue>ContactPoint>PostalAddresses>postalCode
ic:構造化住所_住所ID	AddressId	
ic:構造化住所_住所コード	AddressCode	

ic:場所_経緯度座標	LocationTwoDimensionalGeographicCoordinate	Thing>Intangible>StructuredValue>GeoCoordinates>GeoCoordinates
ic:経緯度座標系_緯度	GeographicCoordinateLatitude	Thing>Intangible>StructuredValue>GeoCoordinates>latitude
ic:経緯度座標系_経度	GeographicCoordinateLongitude	Thing>Intangible>StructuredValue>GeoCoordinates>longitude
ic:場所_高度	LocationAltitude	Thing>Intangible>StructuredValue>GeoCoordinates>elevation
ic:建物_設備情報	Equipment	
ic:設備_ID	EquipmentId	
ic:設備_名称	EquipmentName	Thing>Place>CivicStructure>name
ic:設備_種類	EquipmentType	
ic:設備_設置場所	EquipmentPlace	
ic:設備_利用可能時間	ScheduleDayType	
ic:オープン日	ScheduleDate	Thing>Intangible>StructuredValue>OpeningHoursSpecification>dayOfWeek
ic:開始時間	ScheduleDayStartTime	Thing>Intangible>StructuredValue>OpeningHoursSpecification>opens
ic:終了時間	ScheduleDayEndTime	
ic:設備_建物内外	AccessAvailabilityOfPad	
ic:設備_利用者	EquipmentUser	
ic:設備_設置日	DayOfInstallation	
ic:設備_写真	PhotoOfAed	Thing>Place>CivicStructure>photo
ic:設備_url	EquipmentUrl	Thing>Place>CivicStructure>url
ic:設備_設置者	EquipmentOwner	
ic:設備_管理者	EquipmentOperater	
ic:設備_連絡先	EquipmentContactInformation	
ic:連絡先_電話番号	ContactTelephoneNumber	Thing>Intangible>StructuredValue>ContactPoint>telephone
ic:連絡先_内線番号	ContactExtension	
ic:設備_補足	EquipmentNote	
ic:設備_情報更新日	DateOfUpdatingInformation	
ic:メタデータ	Metadata	
ic:メタデータ_最終更新日	LastUpdatedDate	
ic:メタデータ_情報源	Source	

図 11 公共設備共通 英語対応表

im:防災設備	AED	
im:防災設備_有効期限	ExpiryDate	
im:防災設備_タイプ	TypeOfDefibrillator	
im:防災設備_モデルナンバー	ModelNumber	

im: 防災設備_シリアルナンバー	SerialNumber	
-------------------	--------------	--

図 12 公共設備（防災設備） 英語対応表

トイレ	Restroom	
im: トイレ_性別	RestroomUser	
im: トイレ_車いす	BarrierFreeRestroom	
im: トイレ_乳幼児	RestroomWithChangingStation	
im: トイレ_タイプ	RestroomType	
im: トイレ_定員	CapacityOfRestroom	

図 13 公共設備（トイレ） 英語対応表

im:AED	AED	
im:AED_パッド種類	TypeOfPad	
im:AED_有効期限	ExpiryDate	
im:AED_パッド有効期限	ExpiryDateOfPads	
im:AED_バッテリー有効期限	ExpiryDateOfBatteries	
im:AED_タイプ	TypeOfDefibrillator	
im:AED_モデルナンバー	ModelNumber	
im:AED_シリアルナンバー	SerialNumber	
im:AED_使用年数	ApproximateAge	

図 14 公共設備（AED） 英語対応表

3. データ作成とアプリ作成の流れ

(1) 対象エリアでの公共施設情報提供者をリストアップする。

都道府県、市町村、地域 NPO 等

(2) データを入手する。必要な場合には、自治体等に問い合わせる。

(3) アプリケーションを企画する。

- ・ 検索アプリ
- ・ 日常的に使う施設アプリとの連携
- ・ 市民ボランティアとの連携システム 等

目的に応じて、表示項目や管理項目を選択する。必要に応じて追加も可能である。
また、自治体等の管理する管理項目名との対照表を作成する。

IMI		当該自治体現状管理情報	Apps表示案
ic:建物 所在			
ic:場所 地名		施設名称	場所
ic:場所 通称			
ic:場所 地理識別子			
ic:場所 住所		住所	住所
ic:住所 住所			
ic:住所 構造化住所			
	ic:構造化住所 国		
	ic:構造化住所 都道府県		
	ic:構造化住所 市区町村		
	ic:構造化住所 町名		
	ic:構造化住所 街区符号		
	ic:構造化住所 住居番号		
	ic:構造化住所 地番		
	ic:構造化住所 方書		
	ic:方書 方書		
	ic:方書 ビル名		
	ic:方書 部屋番号		
	ic:構造化住所 郵便番号	郵便番号	
	ic:構造化住所 住所ID		
	ic:構造化住所 住所コード		
ic:場所 経緯度座標			
ic:経緯度座標系 測地系コード			
ic:経緯度座標系 緯度			
	ic:緯度 度		
	ic:緯度 分		
	ic:緯度 秒		
ic:経緯度座標系 経度			
	ic:経度 度		
	ic:経度 分		
	ic:経度 秒		
ic:場所 高度			
ic:建物 公共設備情報			
ic:公共設備ID			
ic:公共設備 名称			
ic:公共設備 設置場所			設置場所
ic:公共設備 利用可能時間			利用可能時間
	ic:オープン日		
	ic:開始時間		
	ic:終了時間		
ic:公共設備 建物内外			建物内外
ic:公共設備 利用者			利用制限
ic:公共設備 設置日		設置日	
ic:公共設備 写真			写真
ic:公共設備 ホームページ			ホームページ
ic:公共設備 設置者		設置者	設置者
		設置者住所	
ic:公共設備 管理者			設置者()内
ic:公共設備 連絡先		電話番号	連絡先
	ic:連絡先 電話番号		
	ic:連絡先 内線番号		
ic:公共設備 補足			補足
AED			
im:AED バッド種類		バッド種類	バッド種類
im:AED 有効期限			有効期限
	im:AED バッド有効期限		
	im:AED バッテリ有効期限		
im:AED 情報源			
im:AED タイプ			
im:AED モデルナンバー			
im:AED シリアルナンバー			
im:AED 使用年数			
ic:metadata			
ic:メタデータ 最終更新日			
ic:メタデータ 情報源			

図 15 AED での対照表例 (表示項目-管理項目-現状データ項目)

- (4) AED 情報を維持管理、最新化するための仕組みを整備する。たとえば、地域の高齢者に散歩のときに存在確認をしてもらうなど。
- (5) 関連ドキュメントを整備する。
- (6) 他地域へのノウハウ移転を検討する。

(参考)データ項目の整備方法例 (AED)

IMI コアボキャブラリと、都道府県、市町村、国内外の各種団体が提供する AED 情報の対照表を作成し、AED の IEP を作成。

			サンプル	マップ1	マップ2	マップ3	マップ4	マップ5	マップ6	マップ7	マップ8	マップ9	マップ10
ic:場所_地名	LocationName			場所等(設置場所名称(施設名))	設置場所概要	名前	施設名称	施設名称	名前	名称	名称		
ic:場所_通称	LocationAlternativeName												
ic:場所_地理識別子	LocationIdentification												
ic:場所_住所	LocationAddress		住所	住所	住所	住所	住所	住所	住所	住所	住所	住所	
ic:住所_住所	FullAddress												
ic:住所_構造化住所	StructureAddress												
ic:構造化住所_国	Country												
ic:構造化住所_都道府県	Prefecture												
ic:構造化住所_市区町村	City												
ic:構造化住所_町名	AddressArea												
ic:構造化住所_街区符号	Thoroughfare												
ic:構造化住所_住居番号	HouseNumber												
ic:構造化住所_地番	LotNumber												
ic:構造化住所_方書	Locator												
ic:方書_方書	LocatorFull												
ic:方書_ビル名	LocatorName												
ic:方書_部屋番号	LocatorDesignator												
ic:構造化住所_郵便番号	PostCode							郵便番号					
ic:構造化住所_住所ID	AddressId												
ic:場所_経緯度座標	Location	TwoDimensionalGeographicCoordinate											
ic:経緯度座標系_緯度	GeographicCoordinateLatitude		35.697502										
ic:経緯度座標系_経度	GeographicCoordinateLongitude		139.582672										
ic:場所_高度	LocationAltitude												
im:公共設備ID	PublicFacilityId												
im:公共設備_名称	PublicFacilityName		井の頭公園駅AED										
im:公共設備_設置場所	PublicFacilityPlace			設置位置	設置場所	設置場所	設置場所	設置場所	設置場所	設置場所	設置場所	設置場所	設置場所
im:公共設備_設置者	PublicFacilityOwner			設置者				設置者					
im:公共設備_管理者	PublicFacilityOperator							設置者住所					
im:公共設備_連絡先	PublicFacilityContactInformation		0422-46-0521	連絡先				電話番号		電話番号		電話番号	
ic:連絡先_電話番号	ContactTelephoneNumber												
ic:連絡先_内線番号	ContactExtension												
im:AED_パッド種類	TypeOfPad							パッド種類		パッドの種類		小児用パッド有無	
im:AED_利用可能時間	ScheduleDayType		24時間	利用可能時間帯		利用可能時間帯	使用可能時間		使用可能日時	利用可能時間	使用可能時間帯		
ic:オープン日	ScheduleDate		24時間										
ic:開始時間	ScheduleDayStartTime		0.00										
ic:終了時間	ScheduleDayEndTime		24.00.00										
im:AED_建物内外	AccessAvailabilityOfPad							休業日		使用可能日時	利用可能日		
im:AED_利用者	User			設置目的									
im:AED_設置日	DayOfInstallation							設置日					
im:AED_有効期限	ExpiryDate		2015-03-31										
im:AED_パッド有効期限	ExpiryDateOfPads												
im:AED_バッテリー有効期限	ExpiryDateOfBatteries												
im:AED_情報源	ResourceOfThisInformation			情報源									
im:AED_補足	Note			補足		備考							
im:AED_写真	PhotoOfAed					写真				写真		写真	
im:AED_ホームページ	Homepage									ホームページ			
im:AED_タイプ	TypeOfDefibrillator												
im:AED_モデルナンバー	ModelNumber												
im:AED_シリアルナンバー	SerialNumber												
im:AED_使用年数	ApproximateAge												